



ま ど



- ☆よく考え進んで学ぶ子
- ☆心豊かで思いやりのある子
- ☆健康でたくましい子

令和8年7月24日 発行

■□■ 「むごい教育」にしないために ■□■

校長 岩崎 愛彦

武家政権の中で 260 年もの間、最も安定した時代を確立したのが「徳川家康」。彼は幼名を「竹千代」といいました。彼が駿河国（今の静岡県）の大大名「今川義元」の人質となったのが、6歳の時でした。竹千代はとても優れた子どもで、義元は一目見て「この子がこのまま大人になったら大変だ。今川家にとって脅威になるに違いない。」と思ったそうです。そこで、義元は家来に、「竹千代には『むごい教育』をせよ。」と命じました。「むごい」とは、「残酷でかわいそうな」という意味です。では「残酷な教育」とはどのようなものなのでしょうか。義元の命令は、具体的には次のようなものでした。



教育出版株式会社の許諾を得て掲載しています。

- 朝から晩まで贅沢なご馳走を好きなだけ与えよ。
 - 「寝たい」と言ったら、いつでもいくらでも寝かせてやれ。
 - 夏は暑くないようにしてやり、冬は寒くないようにしてやれ。
 - 「学問が嫌だ」と言うなら、無理してやらせなくてもよい。
 - 「遊びたい」と言えば、好きな物を好きなだけ与え、好きなだけ遊ばせてやれ。
- とにかく、何事も言いなりになって、好きなことを好きなだけさせてやればよい。

さて、どうしてこれが「むごい」のでしょうか。本人がやりたいということはどんどんさせてやるべきではないのでしょうか。その子の興味・関心を大切にすることは、その子の個性を伸ばすために必要なことではないのでしょうか。

義元は別の面から考えていました。人は、楽で好きなことばかりさせていると、どんなよい子でも「ダメ人間」になってしまうというのです。「我慢した経験」がなければ我慢することもできなくなるのです。その結果、自分を守るために何でも「他人のせい」にするようになり、「わがまま」も言うようになってしまいます。そもそも生活がだらしくなっていく……。そのことを義元はよくわかっていたというのです。

しかし、それを上回っていたのが竹千代、徳川家康です。竹千代もこの義元の命令をラッキーとは思わず、ちゃんとわかっていたのです。どんなに家来からおいしそうな食事を出されても、あえて粗末な食事を選びました。自ら早寝早起きをし、学問や武芸にも熱心に取り組みました。遊ばないわけではなく、全力で遊びます。それでも、どんな甘い言葉にも惑わされることなく、自分を律してけじめある生活をするよう徹底していたのだそうです。そういう人間だからこそ、日本を統一し、戦のない平和な国をつくれたのでしょ

さあ、明日から夏休みです。学校ではなかなかできない貴重な体験を多く経験してほしいところです。しかし、自由な時間が多いため、誘惑も多くなります。それぞれに目標を決め、しっかり達成できるように「自分から」努力していかなければなりません。自分に対して「むごい」生活を求めるのではなく、「価値ある時間」を大切に過ごしてほしいと願っています。夏休み明けに、ひと回り頼もしくなった子どもたちの顔を見るのが今から楽しみです。4月からの4か月間、本校児童をお支えいただきありがとうございました。

日	曜	8 月 行 事 予 定	給食	心の相談日
1	土			
2	日			
3	月	楽しい夏休みですが、交通事故や水難事故には、十分気をつけてほしいと思います。特に、川や海は天候の変化によって、思わぬ事故につながります。安心・安全に楽しいひとときをお過ごしください。		
4	火			
5	水			
6	木			
7	金			
8	土			
9	日			
10	月			
11	火	山の日		
12	水	学校閉庁日		
13	木	学校閉庁日		
14	金	学校閉庁日		
15	土	教育実習生の紹介 夏休み明けから9月18日（金）までの4週間、3名の教育実習生が学級に入り一緒に勉強します。 北翔大学 松橋 一葉 さん 北翔大学 大野 大誠 さん 北翔大学 山王丸 海日 さん		
16	日			
17	月			
18	火			
19	水			
20	木			
21	金			
22	土			
23	日			
24	月	転入受付 会議日		
25	火	教育実習開始 安全点検日	○	○
26	水	図書返却(4～6年・つ) 会議日夏休み作品展(～4日) ふくろうの日 スクールカウンセラー来校 食の指導(4年)	○	○
27	木	修学旅行(6年)1日目 図書返却(1～3年) 食の指導(2年)	△	
28	金	修学旅行(6年)2日目 給食試食会(6年)	△	
29	土			
30	日			
31	月	クラブ 選挙管理委員会(昼)	○	

登校支援室について

子どもの気持ちになかなか学校に向かない時や登校したものの教室へ足が向かない時などに、気持ちを整えて一息つく場として本校では会議室等を使用して「登校支援室」を設置しています。

登校支援室には月曜日と水曜日の8:30～11:30には登校サポーターの太田顕子さんが勤務しています。

学校の様子

仲間と過ごした宿泊学習(5年)

6月30日(火)・7月1日(水)に5年生が宿泊学習に行ってきました。テーマは『みんなで決まりを守って楽しい宿泊学習にしよう!』でした。小樽市でのクラス別研修(市内散策)や宿泊施設での野外炊事、キャンプファイヤーなど、予定していたプログラムを全て行うことができました。

宿泊学習は集団行動における役割や責任を子どもたち一人一人に自覚させ、自主性や自立心を育てるとともに集団としての向上を目指す行事です。この2日間を通して学んだことを今後の学校生活に生かせるよう指導していきます。



ふれあい交流館での学習(3年)

7月7日(火)に1組、9日(木)に2組が総合的な学習の時間に野幌ふれあい交流館での校外学習に出かけました。自然の中に隠された人工物を見つける活動を通して、自然と人間との関わりや、人間が環境に与える影響を学びました。自分たちの生活が自然と関わりがあるということを実感することができました。



アイヌ文化活動(6年)

6年生は総合的な学習の時間に「イランカラプテ・アイヌ学」という単元が設定されています。7月17日にアイヌ民族文化財団の活動アドバイザーのみなさんを講師にお招きして、アイヌ民族に関する歴史や文化について学習しました。また、伝統的な踊りを教えていただき一緒に踊りました。

8月の修学旅行では白老町の「民族共生象徴空間 ウポポイ」の見学に行き、さらに学習を深めます。

